

市長とのおしゃべり会 会議録

日 時 令和7年2月20日（木） 11時00分～12時00分

場 所 西端公民館 ホール

出席者	申込団体	碧南あすなろ会	人数	10人
	碧南市	小池市長、社会福祉協議会事務局長		

テーマ 福祉実践教室の授業の改善案

(概要) ガイドボランティアの生徒さんへの指導の向上について

要旨

視覚障がいのガイドボランティアを行っている碧南あすなろ会は、市内の小中学校で福祉実践教室の講師を行っており、今後よりよい講義を行っていくための意見交換の場とした。

主な意見は以下のとおり。

(碧南あすなろ会)

- ・ガイドボランティアの会員が少なくなってきた。社会福祉協議会で講習などを実施してもらい、会員を増やしていきたい。人材の育成が課題。
→コロナ前までは研修を実施していた。令和7年度から再開を検討する。
- ・ボランティアなので報酬もなく、また、働いている人だと時間の確保も難しい。高齢になると健康面や体力も問題となる。
- ・ガイドボランティアの人材確保のためにも情報発信が大切。
→市や社会福祉協議会だけではなく、口コミでも広がるようにしていけるとよい。
- ・児童・生徒が実際にガイド体験することはとても良いこと。体験することによって、声掛け等ができるようになる。
- ・飽きない講義をしていくことが必要。ただ話をするだけではなく、ガイド数人が実演をして、見て分かるようにしていくなど工夫も必要。講話で教えるのではなく、体験してもらうことが大切。
- ・親と一緒に実践することが大切。大人の方にも少しでも知ってもらいたい。
→中央中学校は、親も実践教室に参加することができる。

(市長総括)

- ・碧南市の良いところは小学校の時に福祉実践教室で体験し、中学校でももう一度体験することができる。福祉実践教室は、手の差し伸べ方や人としてのあり方を学ぶ場であり、とても有意義だと感じるので、今後もお互いに協力していきたい。